



宮城教育大学長  
見上一幸

## 宮教大での学びは人間力!

宮城教育大学は、小・中学校教員の養成を主な使命として、昭和40年に東北大学から独立する形で創設された大学です。平成19年度以降は、カリキュラムを大きく修正し、教員養成に専念する大学としての性格を更に強めています。

本学は、入学される皆さんが高度な専門性、子どもに寄り添う豊かな人間性、グローバルな視野など、教育に欠かすことのできない資質を身に付けられるよう、質の高い教育環境を提供することで、まずは学生の皆さんから頼られる大学でありたいと考えています。さらには、生涯学び続けようとする現職教員の方にとっても、現代の多様な課題を抱える学校にとっても、そして環境と共存する形で未来を拓こうとする地域にとっても、よりどころになれば、と思っています。

宮城教育大学による教員養成の精神、これを「教員養成マインド」と呼びますが、その核心は「人間力」と言えるかと思います。ところで、この「人間力」とは何でしょうか。そこには他者とうまくコミュニケーションを取る態度、他者を思いやり協力する態度、グローバルな視

点も含め、多面的・総合的・批判的に思考したり判断したりする能力、未来を予測して計画を立てるだけでなく、それを実行できる力、そして責任を重んじる態度など、いろいろな要素が含まれるでしょう。一口で簡単に説明することは難しいですが、本学では、皆さんが今後社会で生きていく上で、そして今度は自ら次世代を育てていく上で、極めて重要な基盤になる能力と考えています。

宮城教育大学で学び、巣立った卒業生の方々は、教育現場以外の多様な分野でも第一線で活躍されています。もちろんそうした成功の背景には、それぞれの方に備わった才能や不断の努力が大きいことは間違いありません。しかし、本学での学びもまた、重要な意味を持っているものと考えたいところです。皆さんが、このパンフレットに協力してくださった方々の経験から、本学の「教員養成マインド」が、教員としての活動はもとより、広く社会に羽ばたくに当たっても、大きな助けになるものであることを読み取っていただければ、大変にうれしく思います。